

COVID-19後遺症に 補中益気湯が有効だった2症例

医療法人 小内医院 (山形県) 小内 裕

SARS-CoV-2感染後、全身倦怠感、頭痛、嗅覚障害・味覚障害といった長期的な症状が伴うCOVID-19後遺症がわが国でも問題となっているが、その具体的な治療法がない。今回、COVID-19後遺症の諸症状に対して補中益気湯が有効であった2症例を経験したので、報告・考察する。

Keywords COVID-19後遺症、全身倦怠感、頭痛、補中益気湯

はじめに

全身倦怠感、頭痛、嗅覚障害・味覚障害といった症状を伴うCOVID-19後遺症がわが国で問題となっている。各種検査でも器質的異常が認められず、その対応に苦慮することがしばしばある。補中益気湯によりCOVID-19後遺症の諸症状が改善した症例を経験したので、ここに報告する。

症例1 30歳代 女性

【現病歴】 発熱を契機にCOVID-19罹患し、他院で内服処方後、経過観察された。罹患後14日経過し上気道症状は改善したが、全身倦怠感、めまい、頭痛が生じ、改善ないため当院受診した。喫煙歴なし。飲酒歴なし。妊娠・授乳なし。アレルギー歴なし。

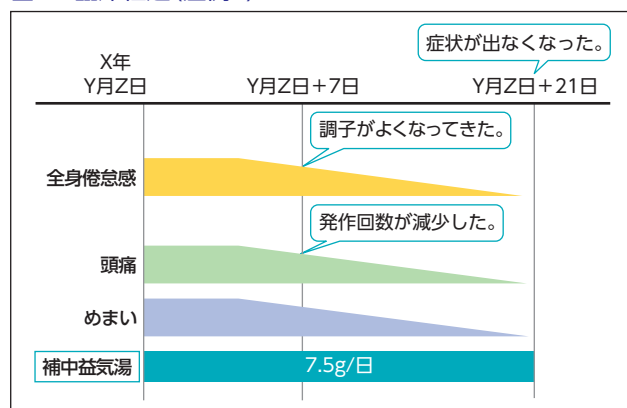
【既往歴】 脂質異常症、貧血を健康診断で指摘されたが、無治療である。

【使用薬剤】 なし。

【身体所見】 意識清明。血圧126/62mmHg、心拍数72/min、体温36.1度、眼瞼結膜貧血なし、眼球結膜黄染なし、心音正常、呼吸音清、浮腫なし、神経学的所見は異常なし。

【経過】 診察において特筆すべき疾患が判明できず、COVID-19後遺症と判断し、クラシエ補中益気湯エキス細粒 7.5g/日(分2)を処方した。内服1週間後には、全身倦怠感、頭痛、めまいは寛解し、症状消失まで合計3週間分内服継続した。また、経過中に補中益気湯が原因と考えられる副作用は認められなかった(図1)

図1 臨床経過(症例1)



症例2 30歳代 女性

【現病歴】 COVID-19ワクチン接種を5回施行している。発熱を契機にCOVID-19罹患し、他院で内服処方後、経過観察された。罹患後14日経過したが、全身倦怠感、味覚障害、嗅覚障害、頭痛、下痢、咳が生じ、改善ないため当院受診した。喫煙歴なし。飲酒歴なし。妊娠・授乳なし。アレルギー歴なし。

【既往歴】 高血圧症、脂質異常症、脂肪肝。

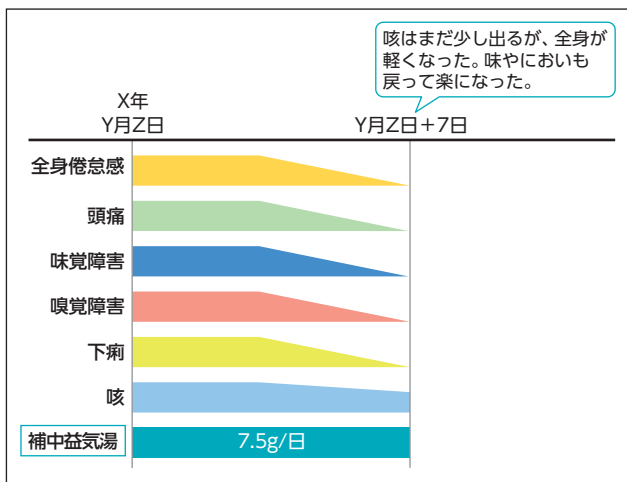
【使用薬剤】 イルベサルタン 50mg/日、ロスバスタチン 2.5mg/日。

【身体所見】 意識清明。血圧124/74mmHg、心拍数75/min、体温36.6度、眼瞼結膜貧血なし、眼球結膜黄染なし、心音正常、呼吸音清、浮腫なし、神経学的所見は異常なし。

【経過】 検査所見から特筆すべき疾患が判明できず、COVID-19後遺症と判断し、クラシエ補中益気湯エキス細粒 7.5g/日(分2)を処方した。内服1週間後には、全身

倦怠感、味覚障害、嗅覚障害、下痢、頭痛は改善したが、咳が残存した。また、経過中に補中益気湯が原因と考えられる副作用は認められなかった(図2)。

図2 臨床経過(症例2)



また、補中益気湯はインターフェロン自体の産生を促進するとともに、IL-1 α とIL-6の産生抑制作用を有するため⁵⁾、COVID-19対策に有用であることが考えられる。さらには、インフルエンザ感染予防に有効との報告⁵⁾もあり、COVID-19による感染予防効果の臨床研究も期待されている⁶⁾。さらに、他の漢方製剤ではウイルス感染後の免疫調整不全による全身性炎症の遅延の改善⁸⁾やLong-COVIDでの胸痛・呼吸困難に柴朴湯が有効であった事例⁹⁾、Long-COVIDにおける全身倦怠感に対して人参養栄湯が著効した事例が報告されている¹⁰⁾。

そのため、今後は長期的な症状持続例、高齢者での事例、男性での事例、他の方剤によるさまざまな症状に対する症例検討などの更なる報告や知見が望まれる。

考 察

COVID-19後遺症は多彩な症状を呈する。症状には、疲労感・倦怠感、息切れ、思考力や記憶への影響などがあり、日常生活に支障を来すこともある。急性期からの回復後に新たに出現する症状もしくは急性期から持続する症状がある。また、症状の程度は変動し、症状消失後に再度出現することもある¹⁾。その原因・発症機序などについて不明な点が多く、臨床現場での対応に苦慮することがしばしばある。特に、COVID-19後遺症による様々な症状のうち、全身倦怠感を訴える人が多い²⁾。COVID-19後遺症外来で診察した1500人以上のうち、93.6%が倦怠感を訴えていた³⁾という報告もある。

補中益気湯は、疲労倦怠によく用いられる漢方薬である。慢性疲労症候群患者に1日2回服用タイプの補中益気湯を投与したところ、3ヵ月程度の比較的短期で日常生活における活動性(PS)や各臨床症状の改善が得られることが確認された⁴⁾事例が報告されている。

本2症例では、短期的な補中益気湯の使用であるが、COVID-19後遺症の症状を改善させることが可能であった。補中益気湯の内服開始後に全身倦怠感だけでなく、頭痛やめまい、味覚障害や嗅覚障害が改善したことは興味深い。

【参考文献】

- 1) WHO reference number: WHO/2019-nCoV/Post_COVID-19_condition/Clinical_case_definition/2021.1
- 2) 平畑光一. 新型コロナ後遺症 完全対策マニュアル. 宝島社. 2021. p58-59
- 3) 平畑光一. 新型コロナ後遺症 完全対策マニュアル. 宝島社. 2021. p33
- 4) 倉恒弘彦 ほか: Progress in Medicine 30 (2): 505-510 (2010)
- 5) Mori K, et al.: Effect of Hochu-ekki-to (TJ-41), a Japanese herbal medicine, on the survival of mice infected influenza virus. Antiviral Research 44: 103-111, 1999
- 6) Takayama S, et al.: Basic pharmacological mechanisms and clinical evidence of the efficacy of hochuekkito against infectious disease and its potential for use against COVID-19. Traditional & Kanpo Medicine Vol. 8 Iss. 1: 3-21, 2021
- 7) Yan Xie, et al.: Molnupiravir and risk of post-acute sequelae of covid-19: cohort study. BMJ 381: e074572, 2023
- 8) 高木 誠. COVID-19罹患後に生じた症状に柴朴湯が有効だった3例. phil漢方 No.94 16-17, 2023
- 9) 溝部宏毅. COVID-19罹患後の胸痛, 呼吸困難に柴朴湯が著効した1例. 日東医誌 Vol.73 No.3 331-334, 2022
- 10) 伊藤智康. COVID-19の後遺症における全身倦怠感に対して人参養栄湯が奏功した3例. phil漢方 No.85 10-12, 2021